

The TAMRON logo is displayed in a bold, blue, sans-serif font. The letters are closely spaced and have a slight shadow effect, giving it a three-dimensional appearance. The background of the slide features a decorative pattern of overlapping hexagons in various shades of blue and teal, with some hexagons containing smaller, lighter-colored hexagons inside them, creating a complex, geometric design.

TAMRON

Focus on the Future

2026年12月期 第1四半期 決算説明

2026年5月1日（金）

株式会社タムロン（証券コード：7740）

I. 2026年第1四半期実績

1. 総括
2. 実績
3. 営業利益変動要因
4. セグメント別実績
 - ①写真関連事業
 - ②監視&FA関連事業
 - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業
5. セグメント別 四半期業績推移

II. 2026年計画（参考※2月6日開示情報）

1. 2026年計画
2. セグメント別計画
 - ①写真関連事業
 - ②監視&FA関連事業
 - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

III. 中期経営計画「Value Creation26 ver. 2.0」進捗状況 （参考※2月6日開示情報）

1. 中期計画 数値目標進捗 全体
2. 中期計画 数値目標進捗
 - ①写真関連事業
 - ②監視&FA関連事業
 - ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

IV. 参考情報

1. 財政状況
2. 設備投資、減価償却費、研究開発費
3. キャッシュ・フロー
4. 配当金、主要経営指標
5. 為替影響

I .2026年第 1 四半期実績



I - 1 . 総括

経営環境

経済環境

- ◆ 地政学的リスクの長期化および米国関税政策による通商環境の影響により、海外経済の減速感と先行き不透明感の拡大
- ◆ 為替相場の変動：対USD・EURでの円安推移（前年同期比：USD+4円、EUR+23円）
- ◆ 物価高騰に伴う部材コストの高止まりに加え、人件費の上昇傾向が継続

市場環境

- ◆ レンズ交換式カメラ市場、交換レンズ市場：ミラーレスカメラを中心とした需要の底堅い推移により、数量・金額ともにプラス成長を維持
- ◆ 監視・FA市場：監視分野は高精細ニーズ等により堅調に推移。FA分野は在庫調整の一巡により需要が回復。
- ◆ 車載市場：ADASの普及に伴う高度なセンシング需要により、成長が継続

当社業績

- ◆ **売上高：前年比-5%** —OEM製品の大幅な減収影響があったものの、他ビジネスにおける好調が下支えし減収幅を抑制
 - 写真関連事業
 - OEM製品：前年下期から継続する一部受注機種の販売低迷により、約4割の大幅減収
 - 自社ブランド製品：地域別に濃淡はあるものの、全体としては、微増収を維持
 - 監視&FA関連、モビリティ&ヘルスケア、その他事業：旺盛な需要を背景に、2桁の増収
- ◆ **営業利益：前期比-19%** — R&D強化や人件費上昇も、販管費は前年同等水準に抑制するも、減収影響より減益。
- ◆ **対計画：売上・利益ともに、上回って進捗**

トピック

- ◆ 1月： **新たな戦略投資** 世界初「採血のいらぬ非侵襲血糖値センサー」開発のライトタッチテクノロジー株式会社へ出資
- ◆ 2月： **新長期ビジョンの策定** 2035年に向けた長期ビジョンを刷新し、総合光学・センシングソリューション企業への進化を宣言
- ◆ 2月： **ソフトウェアによる顧客利便性向上** 無線操作アクセサリ「TAMRON-LINK™」発売と「TAMRON Lens Utility™」のiOS対応
- ◆ 3月： **新製品発売** 大口径標準ズームレンズ「35-100mm F/2.8 VXD(Model A078) ニコン Zマウント用/ソニー Eマウント用」発売
- ◆ 4月： **TIPAアワード13年連続受賞** 「16-30mm F/2.8 VXD G2 (Model A064) 」および 「35-100mm F/2.8 VXD (Model A078) 」が2機種同時受賞

I - 2 . 実績

- ◆ 監視 & FA関連事業、モビリティ & ヘルスケア、その他事業が増収も、写真関連のOEM製品の受注低迷が継続し減収
- ◆ 減収影響に加え、物価高による原材料・光熱費の高騰が収益を圧迫。徹底した原価低減を推進したものの、完全には相殺できず、粗利率低下
- ◆ 研究開発強化や人件費上昇があるなか、販管費を前年同等水準に抑制するも、減収影響より減益

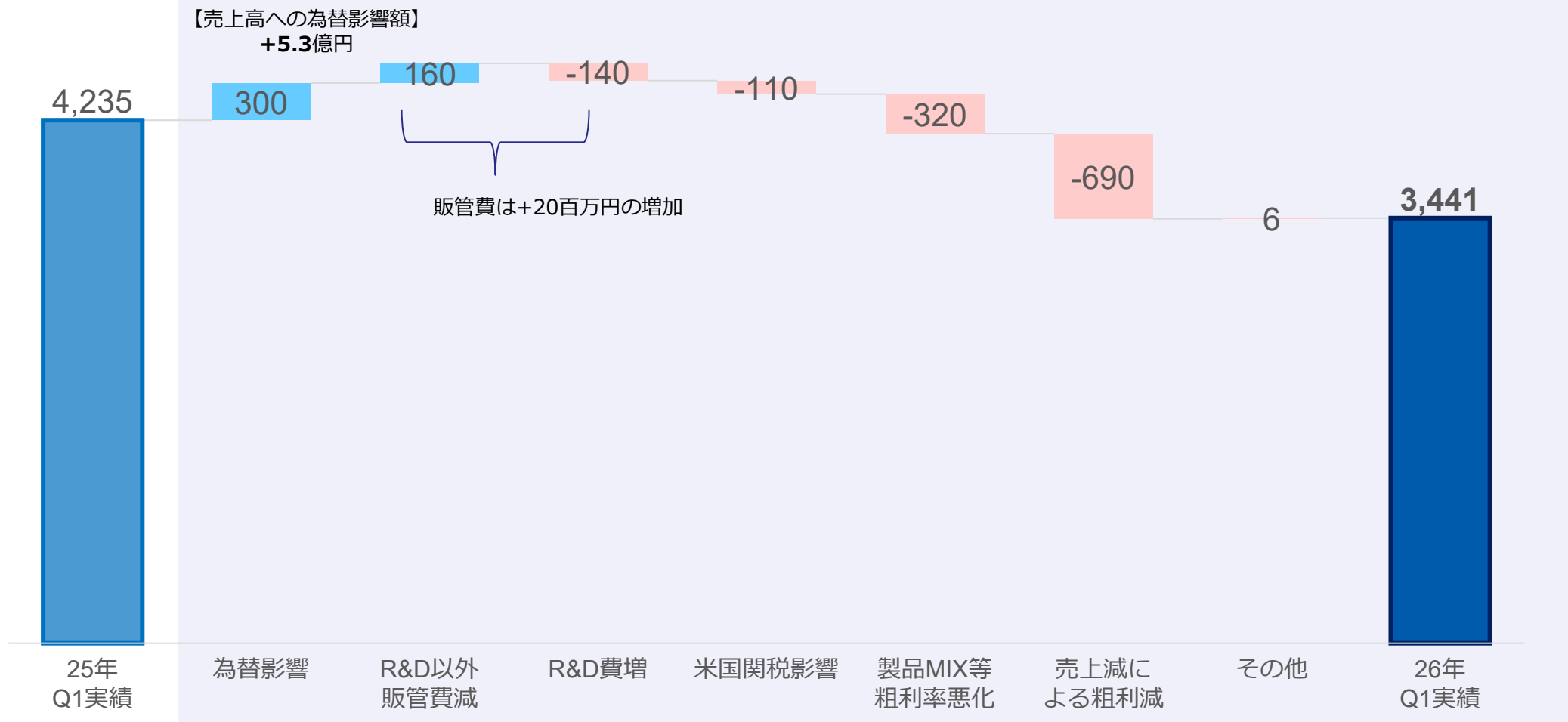
(単位：百万円)	25年 Q1実績	26年 Q1実績	増減（対前年）	
			額	率
売上高	19,451	18,485	-965	-5.0%
粗利益	8,910	8,209	-700	-7.9%
粗利益率	45.8%	44.4%	-1.4pts	-
販管費	4,675	4,767	+92	+2.0%
営業利益	4,235	3,441	-793	-18.7%
営業利益率	21.8%	18.6%	-3.2pts	-
経常利益	4,238	3,363	-874	-20.6%
経常利益率	21.8%	18.2%	-3.6pts	-
純利益	2,841	2,712	-128	-4.5%
純利益率	14.6%	14.7%	+0.1pts	-
ドル	152.57	156.97	+4.40	-
ユーロ	160.61	183.71	+23.10	-

I - 3 . 営業利益変動要因

減収影響や製品ミックス悪化による粗利減が大きく、販管費は前年並みに抑えるも利益減

(単位：百万円)

26年12月期 第1四半期



I-4. セグメント別実績 ①写真関連事業



- ◆ 自社ブランドは、地域別に濃淡はあるものの、増収を維持
 - 欧州：前年下期からの低迷基調から**プラス転換。2桁の販売伸長**
 - 米国：**25年Q2以降の成長トレンドを維持し、好調に推移**
 - 日本：**市場以上の販売伸長**
 - 中国：市場在庫過多により、大幅減収
- ◆ OEMは前年下期から継続する一部受注機種の販売低迷が、事業全体の押し下げ要因に
- ◆ 減収影響によるインパクトが大きく、利益を圧迫。原材料・光熱費高騰に加え、R&D費や人件費の増加が利益を押し下げ

	25年 Q1実績	26年 Q1実績	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	13,569	11,305	-2,263	-16.7%
営業利益	3,803	2,390	-1,413	-37.2%
営業利益率	28.0%	21.1%	-6.9pts	-

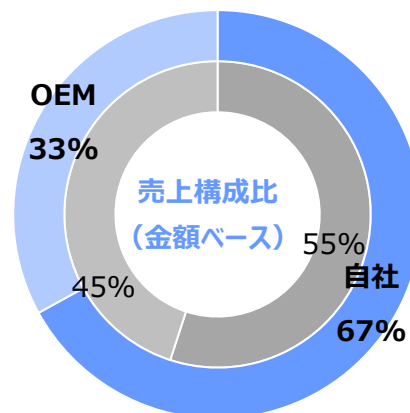
為替影響額

(対前年レート)

売上高	+3.3億円
営業利益	+1.7億円

売上高内訳

		25年 Q1実績	26年 Q1実績	増減 (対前年)	
				額	率
金額 (億円)	自社	74	75	+1	+1.5%
	OEM	62	38	-24	-38.7%
数量 (万台)	自社	10	10	-0	-3.7%
	OEM	18	12	-6	-35.5%



内円：25年
外円：26年

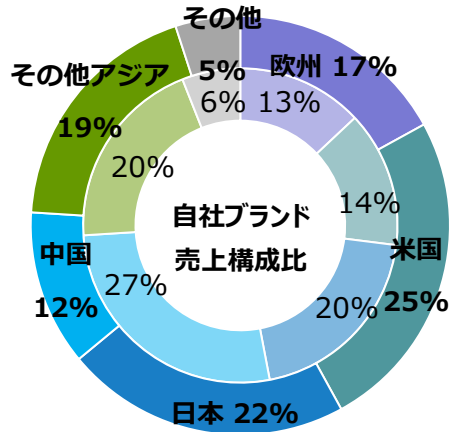
26年 市場状況	Q1 (前年比)	
	数量	金額
一眼レフ	-40%	-49%
ミラーレス	+10%	+7%
レンズ交換式カメラ計	+3%	+3%
交換レンズ	+3%	+2%

I-4. セグメント別実績 ①写真関連事業



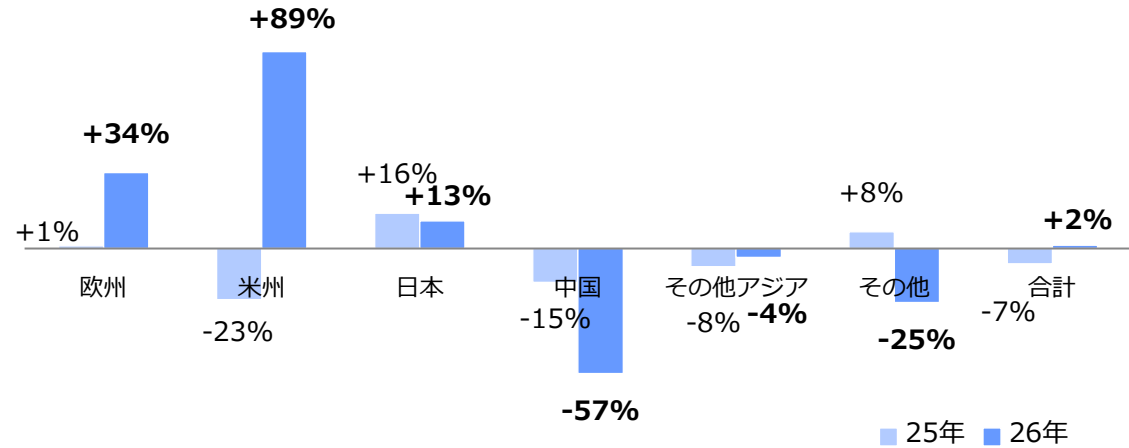
第1四半期 地域別自社ブランド売上高

売上構成比 (金額ベース)



内円：25年
外円：26年

売上増減率(対前年同期・円換算ベース)



交換レンズ市場状況 (Q1)

地域構成比

(金額ベース)	25年	26年
欧州	20%	23%
米州	28%	22%
日本	10%	11%
中国	20%	22%
その他アジア	16%	17%
その他	6%	5%
合計	100%	100%

地域別出荷増減率

	25年 (前年比)		26年 (前年比)	
	数量	金額	数量	金額
欧州	+4%	+3%	+8%	+13%
米州	+13%	+30%	-2%	-18%
日本	-1%	+8%	+12%	+7%
中国	+1%	-23%	-3%	+14%
その他アジア	-1%	+2%	+11%	+9%
その他	+29%	+28%	+1%	-9%
合計	+5%	+4%	+3%	+2%

I-4. セグメント別実績 ②監視&FA関連事業



- ◆ 監視：高精細・高解像ニーズの拡大および用途の多様化を捉え、**約1.3倍の伸長**
- ◆ FA：顧客在庫調整の影響が一巡し、**需要が回復。2桁の増収**
- ◆ TV会議：市場低迷も既存機種を受注により**増収を維持**
- ◆ カメラモジュール：客先要望に応じた性能改善により、**受注が増加し好調に推移**
- ◆ 営業利益：原材料価格の高騰による粗利率低下も、**各カテゴリでの2桁増収と販管費の抑制により、営業利益は増益を確保**

	25年 Q1実績	26年 Q1実績	増減 (対前年)	
			額	率
(単位：百万円)				
売上高	2,878	3,602	+724	+25.2%
営業利益	409	523	+113	+27.9%
営業利益率	14.2%	14.5%	+0.3pts	-

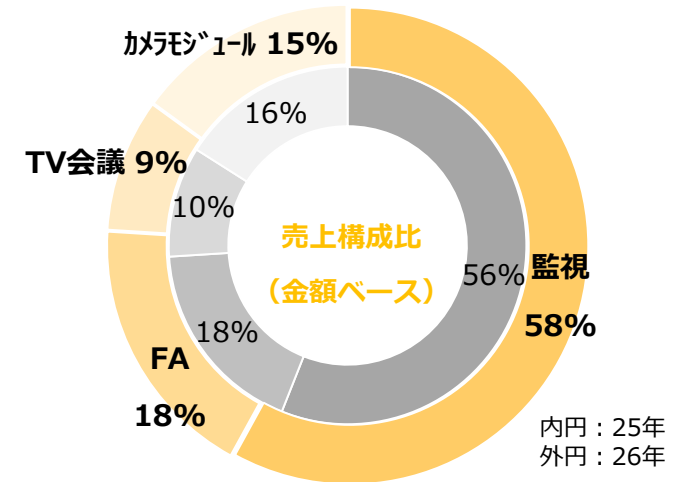
為替影響額

(対前年レート)

売上高	+0.9億円
営業利益	+0.5億円

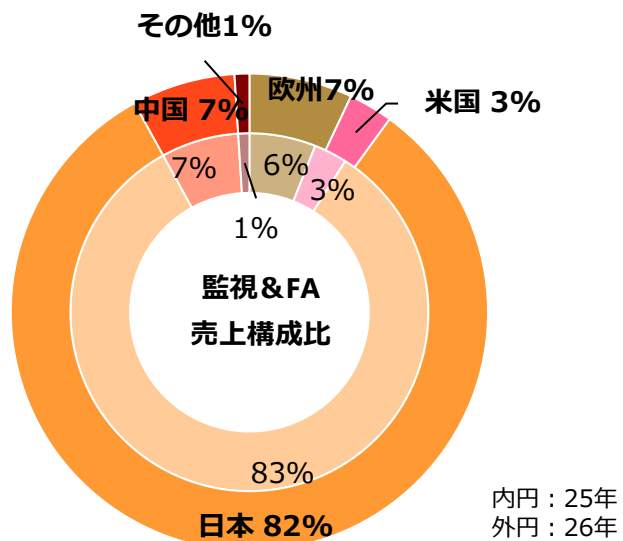
売上高内訳

		25年 Q1実績	26年 Q1実績	増減 (対前年)	
				額	率
金額 (億円)	監視	16	21	+5	+28.8%
	FA他	5	7	+2	+26.1%
	TV会議	3	3	+0	+15.5%
	カメラモジュール	5	5	+0	+17.1%
数量 (万台)	合計	28	39	+11	+38.3%

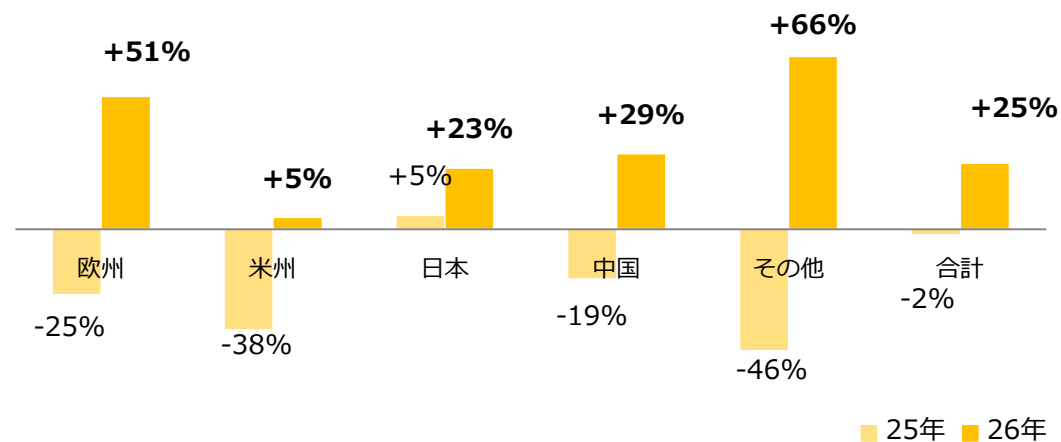


I-4. セグメント別実績 ②監視&FA関連事業

第1四半期拠点別売上構成比 (金額ベース)



第1四半期 拠点別売上増減率(対前年同期・円換算ベース)



I-4. セグメント別実績 ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

- ◆ 車載：安全運転支援システム（ADAS）の普及に伴う高度なセンシング需要が依然として旺盛であり、増収基調を継続
- ◆ 医療：低侵襲医療を支える製品ラインナップの拡充が奏功し、約1.6倍の大幅な増収
- ◆ 営業利益：販売好調による粗利増に加え、継続的な原価低減活動および販管費の抑制により利益は約1.2倍の増益

(単位：百万円)	25年	26年	増減（対前年）	
	Q1実績	Q1実績	額	率
売上高	3,003	3,577	+573	+19.1%
営業利益	729	901	+172	+23.7%
営業利益率	24.3%	25.2%	+0.9pts	-

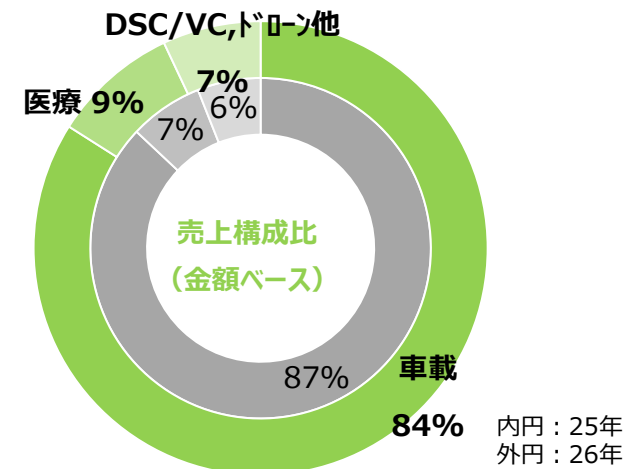
為替影響額

(対前年レート)

売上高	+1.1億円
営業利益	+0.8億円

売上高内訳

金額	車載	医療	DSC/VC, ドローン他	増減（対前年）	
				額	率
(億円)	26	3	3	+4	+15.4%
				+1	+62.0%
				+1	+24.1%

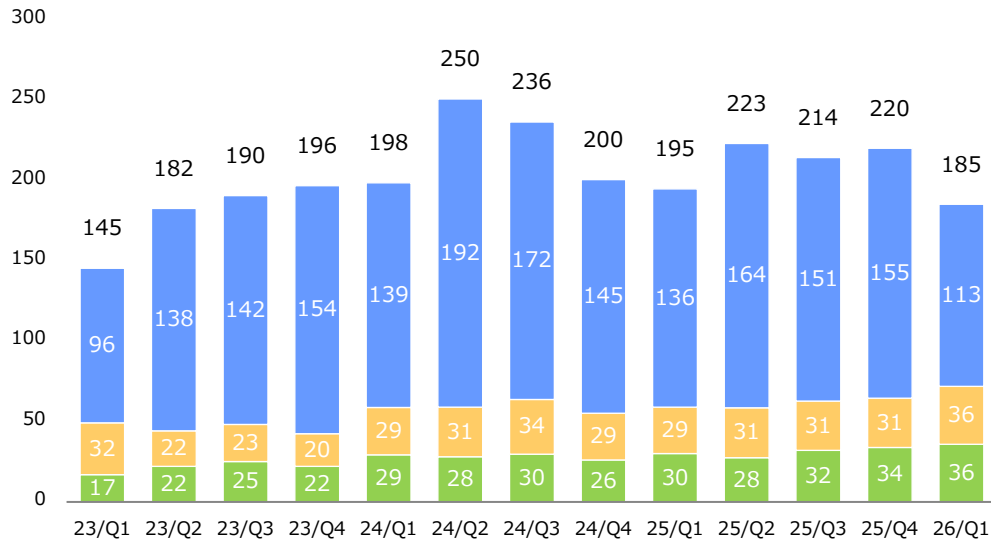


I-5.セグメント別 四半期業績推移

(単位：百万円)		24年 Q1	前年 同期比 (%)	24年 Q2	前年 同期比 (%)	24年 Q3	前年 同期比 (%)	24年 Q4	前年 同期比 (%)	25年 Q1	前年 同期比 (%)	25年 Q2	前年 同期比 (%)	25年 Q3	前年 同期比 (%)	25年 Q4	前年 同期比 (%)	26年 Q1	前期比 (%)	前年 同期比 (%)
写真関連	売上高	13,944	+45.0	19,152	+38.7	17,228	+21.3	14,510	-5.8	13,569	-2.7	16,413	-14.3	15,131	-12.2	15,529	+7.0	11,305	-27.2	-16.7
	営業利益	4,019	+50.8	5,959	+55.2	5,263	+33.3	2,868	-19.3	3,803	-5.4	4,599	-22.8	3,925	-25.4	3,301	+15.1	2,390	-27.6	-37.2
監視&FA関連	売上高	2,939	-8.6	3,072	+38.6	3,403	+47.2	2,899	+42.0	2,878	-2.1	3,098	+0.8	3,061	-10.0	3,053	+5.3	3,602	+18.0	+25.2
	営業利益	428	+48.4	437	+52.6	578	+462.2	121	+222.6	409	-4.5	520	+18.9	321	-44.4	424	+248.4	523	+23.2	+27.9
Eビリティ&ヘルスケア その他	売上高	2,935	+73.6	2,809	+27.5	2,970	+18.3	2,609	+18.5	3,003	+2.3	2,751	-2.0	3,195	+7.6	3,384	+29.7	3,577	+5.7	+19.1
	営業利益	729	+156.3	630	+63.8	745	+46.8	371	+18.0	729	+0.0	613	-2.8	721	-3.2	636	+71.2	901	+41.8	+23.7
連結	売上高	19,819	+36.5	25,034	+37.3	23,602	+24.0	20,019	+1.9	19,451	-1.9	22,263	-11.1	21,389	-9.4	21,967	+9.7	18,485	-15.9	-5.0
	営業利益	4,547	+72.9	6,292	+63.6	5,892	+59.1	2,469	-27.9	4,235	-6.9	4,967	-21.1	4,183	-29.0	3,251	+31.7	3,441	+5.8	-18.7

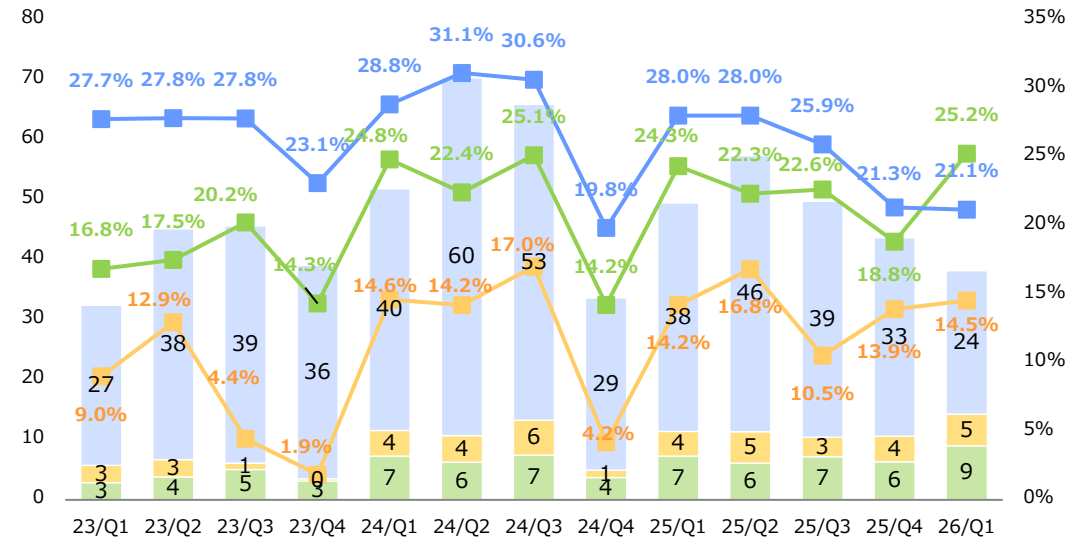
売上高

(単位：億円)



営業利益・営業利益率

(単位：億円)



Ⅱ.2026年 計画

※参考（2月6日開示情報）



II - 1 . 2026年計画

経営環境

経済環境

- ◆ 緩やかな景気回復基調も、中東を中心とした地政学リスクの長期化や中国経済の減速懸念、ならびに米国の通商・産業政策をめぐる不当面感など、不確実性は依然高い状況

市場環境

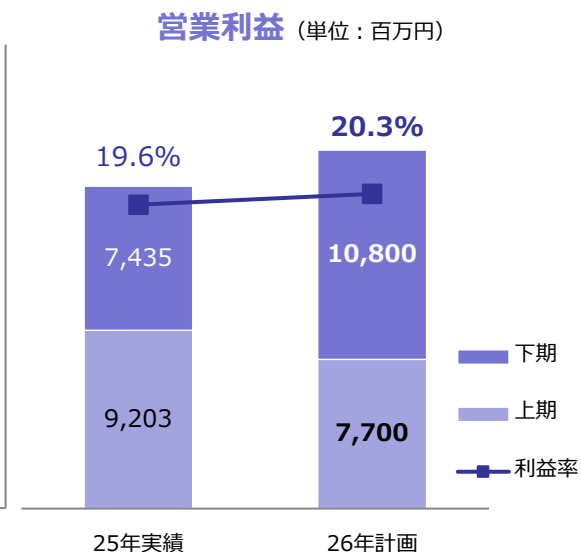
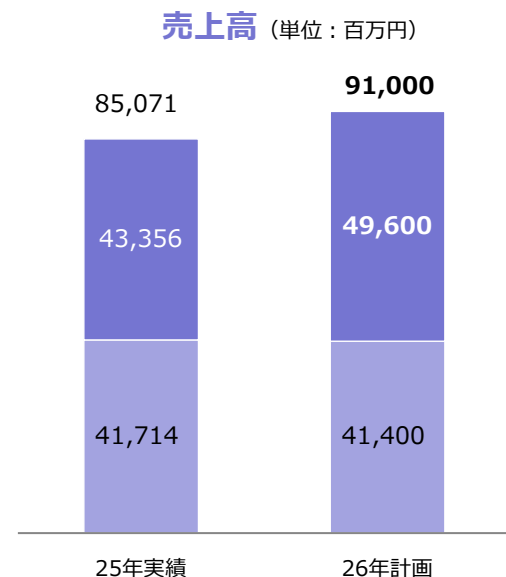
- ◆ レンズ交換式カメラ・交換レンズ市場は数量は横這いも、高付加価値品の堅調により金額は増加
- ◆ 都市監視等の底堅いセキュリティ需要により監視市場は安定成長
- ◆ 車載市場はADAS伸長により引き続き好調に推移

当社業績

- ◆ 25年に対し円安前提。原材料高等によるコストアップ、投資・R&Dの積極化等の影響もあるが、それらを吸収し**増収増益**
- ◆ **当社初の売上高900億円台への到達、2桁の営業増益、営業利益率20%以上**を目指す

(単位：百万円)	25年 上期実績	26年 上期計画	増減（対前年）	
			額	率
売上高	41,714	41,400	-314	-0.8%
営業利益	9,203	7,700	-1,503	-16.3%
営業利益率	22.1%	18.6%	-3.5pts	-
経常利益	9,270	7,700	-1,570	-16.9%
経常利益率	22.2%	18.6%	-3.6pts	-
純利益	6,881	5,700	-1,181	-17.2%
純利益率	16.5%	13.8%	-2.7pts	-
ドル	148.43	148.00	-0.43	-
ユーロ	162.31	175.00	+12.69	-

(単位：百万円)	25年 通期実績	26年 通期計画	増減（対前年）	
			額	率
売上高	85,071	91,000	+5,928	+7.0%
営業利益	16,638	18,500	+1,861	+11.2%
営業利益率	19.6%	20.3%	+0.7pts	-
経常利益	16,699	18,500	+1,800	+10.8%
経常利益率	19.6%	20.3%	+0.7pts	-
純利益	11,761	13,690	+1,928	+16.4%
純利益率	13.8%	15.0%	+1.2pts	-
ドル	149.63	148.00	-1.63	-
ユーロ	169.24	175.00	+5.76	-



II-3. セグメント別計画 ①写真関連事業

- ◆ 自社ブランド：新製品10本以上の投入効果、欧州・中国での販売回復を見込み、市場成長以上の増収
- ◆ OEM：市況や直近の受注状況における所要減を反映
- ◆ 営業利益：販売増による粗利増、広告費等の販管費増も、生産性向上・コストダウン等により吸収、2桁営業増益を見込む

(単位：百万円)	25年	26年	増減（対前年）	
	上期実績	上期計画	額	率
売上高	29,982	28,400	-1,582	-5.3%
営業利益	8,403	7,300	-1,103	-13.1%
営業利益率	28.0%	25.7%	-2.3pts	-

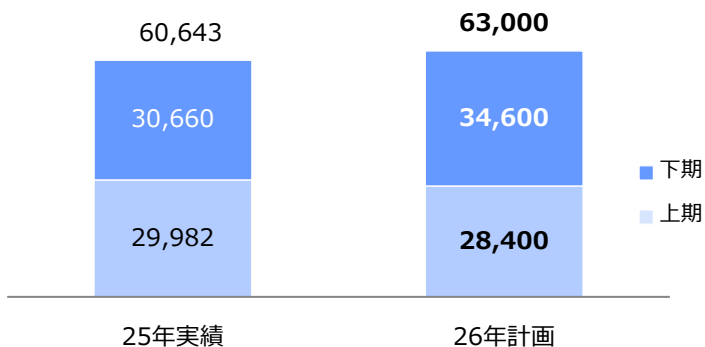
(単位：百万円)	25年	26年	増減（対前年）	
	通期実績	通期計画	額	率
売上高	60,643	63,000	+2,356	+3.9%
営業利益	15,630	17,200	+1,569	+10.0%
営業利益率	25.8%	27.3%	+1.5pts	-

売上高内訳

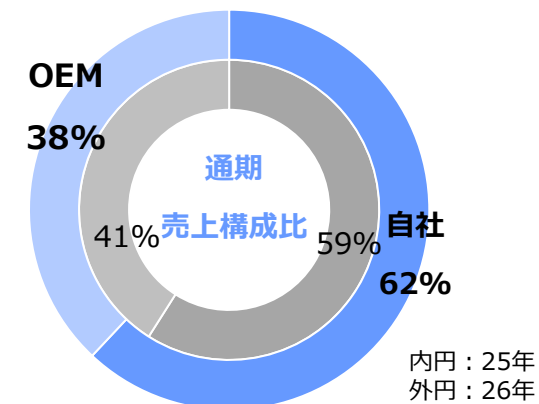
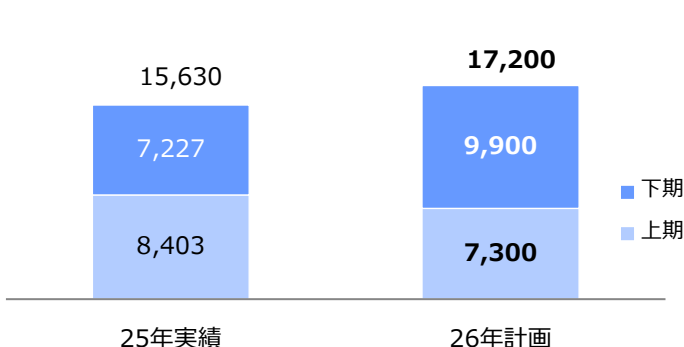
金額 (億円)		25年	26年	増減（対前年）	
		上期実績	上期計画	額	率
数量 (万台)	自社	23	24	+1	+4.5%
	OEM	42	32	-10	-24.5%

金額 (億円)		25年	26年	増減（対前年）	
		通期実績	通期計画	額	率
数量 (万台)	自社	49	52	+3	+5.1%
	OEM	77	72	-5	-6.2%

売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



自社ブランド新製品 投入状況

23年以前：年間5本程度 ⇒ 26年中期方針：年間6～7本 ⇒ 24年：年間7本、25年6本達成 ⇒ 26年新中期方針：26年に年間10本以上投入へ

	2024年 (7本)			2025年 (6本)			2026年 (10本以上予定)		
ソニー Eマウント用 レンズ 累計22本	6月発売  50-300mm F/4.5-6.3 VC VXD (A069)	8月発売  28-300mm F/4-7.1 VC VXD (A074)	10月発売  90mm F/2.8 VXD (F072)	7月発売  16-30mm F/2.8 VXD G2 (A064)		11月発売  25-200mm F/2.8-5.6 VXD G2 (A075)	3月発売  35-100mm F/2.8 VXD (A078)		
富士フィルム Xマウント用 レンズ 累計4本									
ニコン Zマウント用 レンズ 累計10本	4月発売  28-75mm F/2.8 VXD G2 (A063)	9月発売  50-400mm F/4.5-6.3 VC VXD (A067)	10月発売  90mm F/2.8 VXD (F072)	8月発売  16-30mm F/2.8 VXD G2 (A064)	8月発売  18-300mm F/3.5-6.3 VC VXD (B061)	10月発売  70-180mm F/2.8 VXD G2 (A065)	3月発売  35-100mm F/2.8 VXD (A078)		
キヤノン RFマウント用 レンズ 累計2本			12月発売  11-20mm F/2.8 RXD (B060)		9月発売  18-300mm F/3.5-6.3 VC VXD (B061)				

II-3. セグメント別計画 ②監視&FA関連事業

- ◆ 監視：都市監視・オフィス監視等の底堅いセキュリティ需要による市場の安定により、増収
- ◆ FA:在庫調整継続の完了に伴い増収
- ◆ カメラモジュール：昨年度の新機種開発遅れのキャッチアップにより増収
- ◆ TV会議：需要低迷による減収
- ◆ 営業利益：TV会議以外のカテゴリーの売上伸張により、**2桁の増収増益**

(単位：百万円)	25年 上期実績	26年 上期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	5,976	6,400	+423	+7.1%
営業利益	929	700	-229	-24.7%
営業利益率	15.5%	10.9%	-4.6pts	-

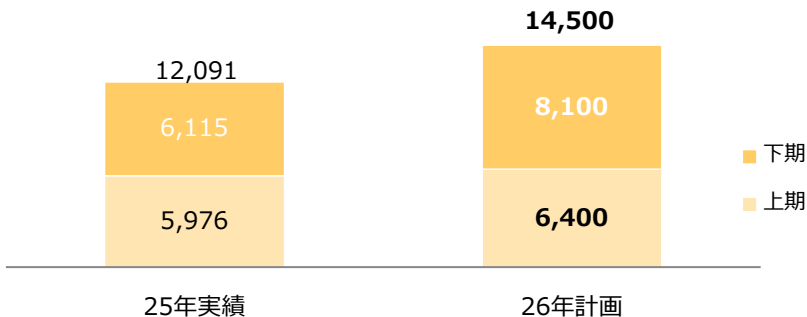
(単位：百万円)	25年 通期実績	26年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	12,091	14,500	+2,408	+19.9%
営業利益	1,675	1,900	+224	+13.4%
営業利益率	13.9%	13.1%	-0.8pts	-

売上高内訳

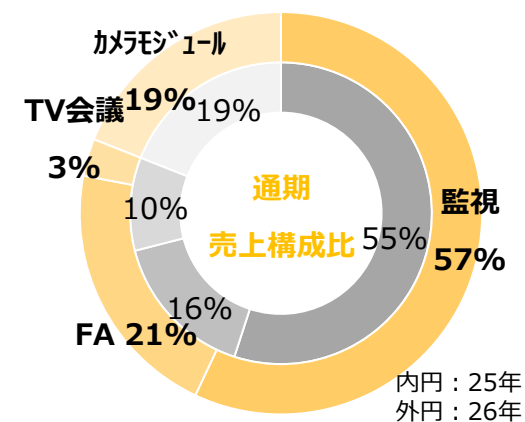
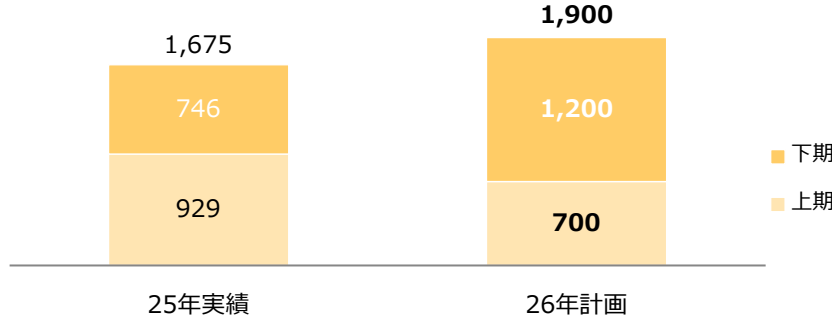
金額 (億円)		25年 上期実績	26年 上期計画	増減 (対前年)	
				額	率
金額	監視	32	40	+8	+26.6%
	FA他	11	10	-1	-6.0%
	TV会議	6	2	-4	-66.0%
	カメラモジュール	11	12	+1	+3.0%
数量 (万台)	合計	59	73	+14	+24.9%

金額 (億円)		25年 通期実績	26年 通期計画	増減 (対前年)	
				額	率
金額	監視	67	83	+16	+24.2%
	FA他	20	30	+10	+52.4%
	TV会議	12	5	-7	-57.9%
	カメラモジュール	22	27	+5	+19.9%
数量 (万台)	合計	129	156	+27	+20.6%

売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)



II-3. セグメント別計画 モビリティ&ヘルスケア、その他事業

- ◆ 車載：ADAS伸長による旺盛な需要をうけ、**約10%増収**
- ◆ 医療：ラインナップ拡充、着実な高成長持続により、**約20%増収**
- ◆ 営業利益：客先からのコストダウン要請対応、医療分野の育成、新規分野の要素技術開発強化も18%以上の利益率維持

(単位：百万円)	25年	26年	増減（対前年）	
	上期実績	上期計画	額	率
売上高	5,755	6,600	+844	+14.7%
営業利益	1,342	1,200	-142	-10.6%
営業利益率	23.3%	18.2%	-5.1pts	-

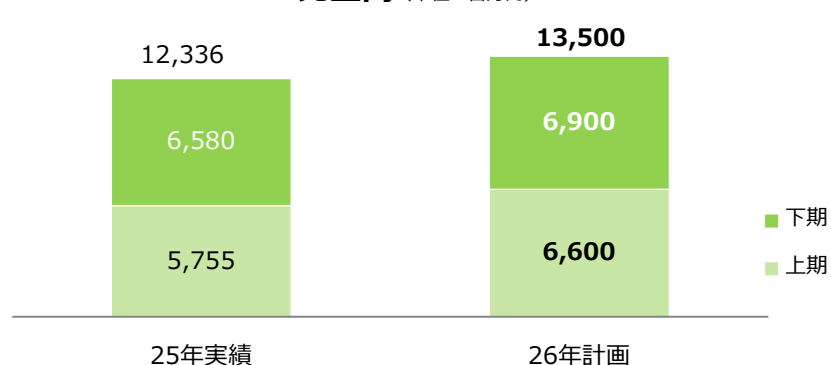
(単位：百万円)	25年	26年	増減（対前年）	
	通期実績	通期計画	額	率
売上高	12,336	13,500	+1,163	+9.4%
営業利益	2,699	2,500	-199	-7.4%
営業利益率	21.9%	18.5%	-3.4pts	-

売上高内訳

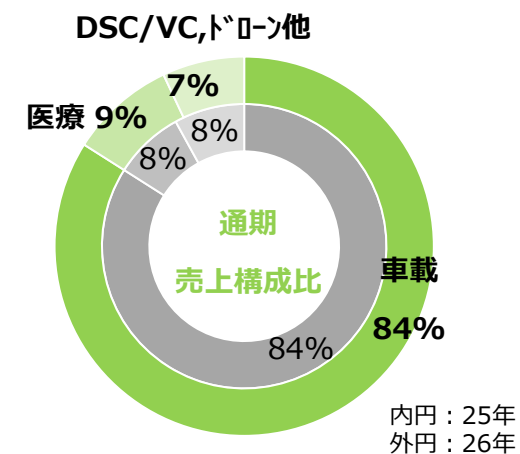
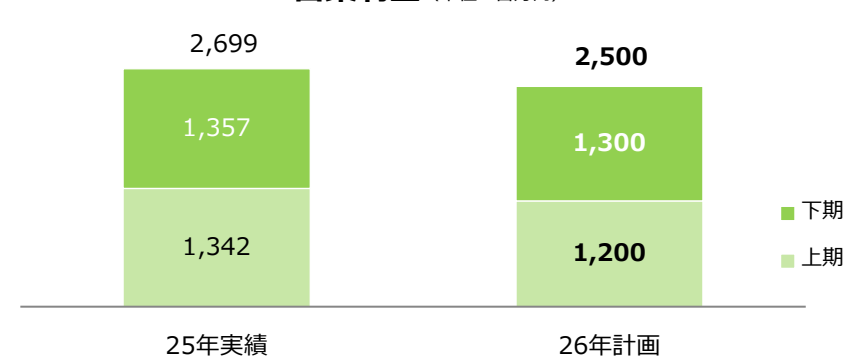
(単位：億円)	25年	26年	増減（対前年）	
	上期実績	上期計画	額	率
車載	49	53	+4	+8.3%
医療	4	8	+4	+93.7%
DSC/VCトローン他	5	5	+0	+12.1%


(単位：億円)	25年	26年	増減（対前年）	
	通期実績	通期計画	額	率
車載	103	113	+10	+9.5%
医療	10	12	+2	+19.9%
DSC/VCトローン他	10	10	-0	-1.4%

売上高 (単位：百万円)



営業利益 (単位：百万円)





Ⅲ.中期経営計画「Value Creation26 ver. 2.0」進捗状況

※参考（2月6日開示情報）

Ⅲ-1. 中期計画 数値目標進捗 全体

計画

- ◆ 『Value Creation26』は、初年度の24年に当初目標の全てを達成したことから、**目標値を大幅に引き上げたver2.0**を公表
- ◆ ver2.0は、**売上高1,000億円と営業利益200億円以上**へ向けた成長・変革期

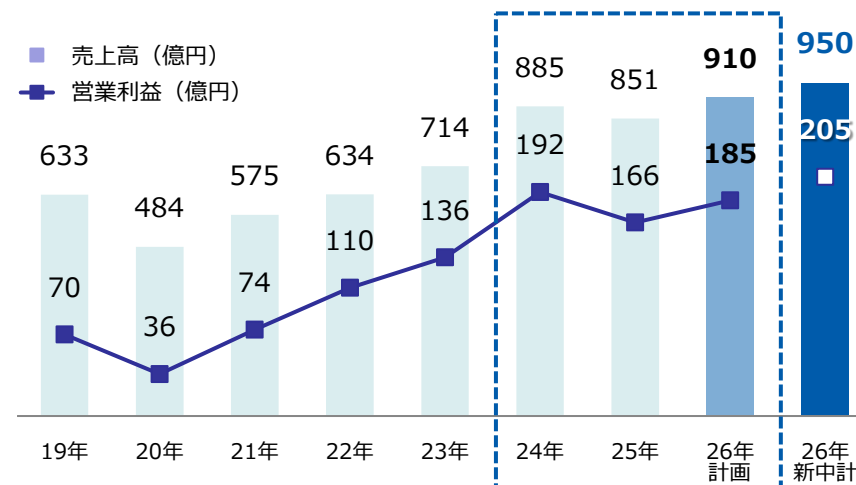
	23年	26年中計		
	実績	当初	ver2.0	23年比
売上高	714億円	830億円	950億円	1.3倍以上
営業利益	136億円	153億円	205億円	1.5倍以上
営業利益率	19.1%	18.4%	21.6%	20%台
ドル	140.68	140.00	145.00	+4.32
ユーロ	152.17	152.00	155.00	+2.83

	21~23年	26年中計	
	平均	当初	ver2.0
EBITDA率	21%台	22%以上	24%以上
ROE	13%台	14%以上	16%以上
株主還元	配当性向 30%台	総還元性向 60%程度	総還元性向 60%程度

進捗

- ◆ 25年は、24年の反動等により写真事業でOEM受注減、自社ブランドで欧州市場の回復遅れなどが影響
- ◆ 26年は、写真事業で**自社ブランド新製品10本以上**投入、**監視・車載の安定成長**等により**V字回復を狙う**

	24年	25年	26年
	実績	実績	計画
売上高	885億円	851億円	910億円
営業利益	192億円	166億円	185億円
営業利益率	21.7%	19.6%	20.3%
ドル	151.69	149.63	148.00
ユーロ	164.09	169.24	175.00



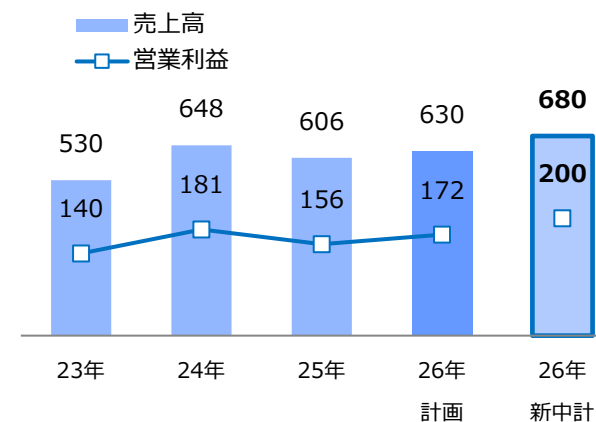
Ⅲ-2. 中期計画 数値目標進捗 ①写真関連事業

計画

(単位：億円)	FY23	FY24-26中計	
	実績	当初	ver2.0
自社	328	370	390
OEM	202	190	290
売上高	530	560	680
営業利益	140	152	200
営業利益率	26.4%	27%以上	29%以上

進捗

(単位：億円)	24年	25年	FY26
	実績	実績	計画
自社	360	359	390
OEM	288	247	240
売上高	648	606	630
営業利益	181	156	172
営業利益率	27.9%	25.8%	27.3%



中期計画：中核事業として高収益体制向上

- ◆ **自社ブランド新製品の投入ペース加速**
 - 23年以前：年5本程度 ⇒ 26年中計：年6-7本計画
 - 26年新中計ver2.0にて**年10本計画へ引き上げ**
- ◆ **自社ブランドシェアの向上**
 - 米州、欧州市場での**売上挽回**
 - 中国・アジア市場の**継続拡大**
 - 未開拓市場開拓** (中南米、アジア、中東、アフリカ)
※金額シェアを7~8%へ (23年以前は5%)
- ◆ **新規フォーマットへの継続対応**
 - キヤノンRFマウント含めた**4マウント体制**の確立
- ◆ **OEM先とのパートナーシップ強化**

24年**7**本 ⇒ 25年**6**本 ⇒ 26年**10**本以上

25年**米州**回復 ⇒ 26年**欧州**回復見込み

24年**前年比2桁**成長 ⇒ 26年**成長回帰**へ

26年**自社ブランドは売上目標達成**へ

24年**当社初のキヤノンRFマウント発売**

開発機種数増加の引き合い⇒次期中計に寄与

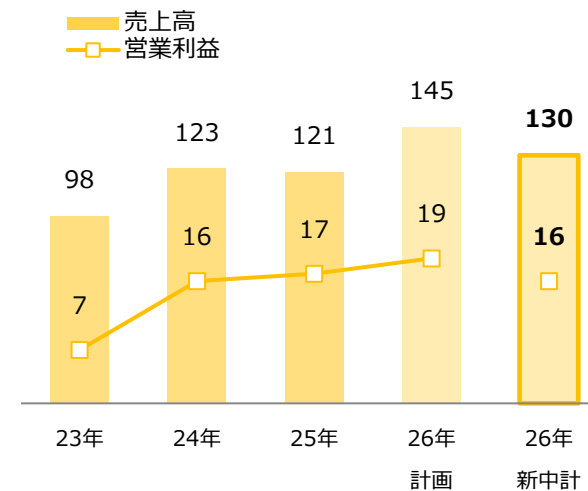
Ⅲ-3. 中期計画 数値目標進捗 ②監視&FA関連事業

計画

(単位：億円)	FY23	FY24-26中計	
	実績	当初	ver2.0
監視	59	74	70
FA他	16	36	28
カメラモジュール	8	35	32
TV会議	15	-	-
売上高	98	145	130
営業利益	7	16	16
営業利益率	7.3%	11%以上	12%以上

進捗

(単位：億円)	FY24年	FY25	FY26
	実績	実績	計画
監視	63	67	83
FA他	24	20	30
カメラモジュール	24	22	27
TV会議	12	12	5
売上高	123	121	145
営業利益	16	17	19
営業利益率	12.7%	13.9%	13.1%



中期計画：成長事業への再転換、営業利益率10%以上へ

- ◆ **監視市場での2面戦略への転換**
 - 高付加価値製品に加えボリュームゾーン受注強化
- ◆ **FA市場、新規分野での顧客開拓**
 - FAラインナップ拡充、OEM受注、SWIR、FAズーム
 - 新中計ver2.0：新規分野への参入
(レーザー加工ヘッド市場、近赤外光源市場、多目的カメラ市場)
- ◆ **カメラモジュールラインナップ拡充**
 - 4K・高倍率・小型化を実現
 - OEM及び自社ブランドの両輪で売上を拡大
 - 新中計ver2.0：遠赤外ズームカメラモジュール開発
 - 事業の選別、事業構造の見直し
- ◆ **中国内での開発・生産・販売体制強化**

24年 売上は**1.2倍**、利益率は**12%以上**を**達成**

25年 1年前倒しで**利益目標達成**、利益率は約**14%へ**

26年 **売上目標、利益目標達成へ**
製品開発強化

24年~25年 新規分野の
農業・食品分野での活用を見込んだSWIR（短波遠赤外光）、
NIR(近赤外光源) の開発
高出力レーザーの出力を制御するレーザー加工ヘッドの開発

⇒ 26年 新規分野で最低1テーマ**新製品上市へ**

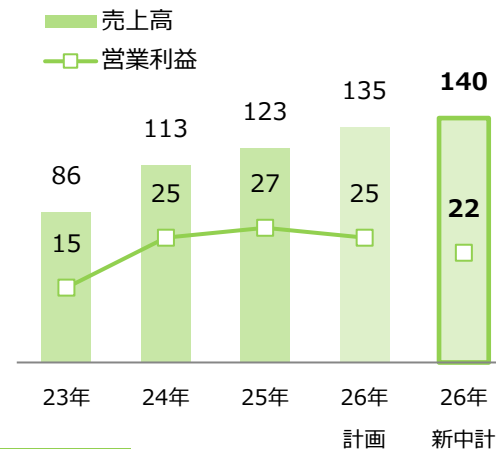
Ⅲ-4. 中期計画 数値目標進捗 ③モビリティ&ヘルスケア、その他事業

計画

(単位：億円)	FY23	FY24-26中計	
	実績	当初	ver2.0
車載	71	102	122
医療	4	14	11
DSC/VC/トロン他	11	9	7
売上高	86	125	140
営業利益	15	17	22
営業利益率	17.3%	13%以上	15%以上

進捗

(単位：億円)	FY24	FY25	FY26
	実績	実績	計画
車載	95	103	113
医療	6.7	10	12
DSC/VC/トロン他	11	10	10
売上高	113	123	135
営業利益	25	27	25
営業利益率	21.9%	21.9%	18.5%



中期計画：車載事業、医療事業の更なる成長・新規事業の創出を加速

- ◆ ADAS進展に伴うセンシング用途への集中
- ◆ コスト競争に向けた次世代コスト体制の確立
- ◆ 高画素、高耐久、高耐熱等、信頼性確保技術の構築
- ◆ 受注活動の変革、企画上流段階からの参画アプローチ
 - ・ 新中計ver2.0：車載事業を120億円事業へ
- ◆ 硬性内視鏡ビジネスの更なるステップアップ
- ◆ 手術顕微鏡、ライフサイエンス分野への本格参入
 - ・ 医療事業を10億円事業へ（30年30億円目指す）
- ◆ 新事業創出への先行投資もあり利益率低下も増益

24年 売上は約**1.3倍**、利益率**20%以上**

25年 売上は約**1.1倍**

26年 **3期連続増収**へ

車載：25年 売上**100億円突破**

センシング向け売上比率：24年85%、25年**90%**

医療：25年 売上**10億円突破**

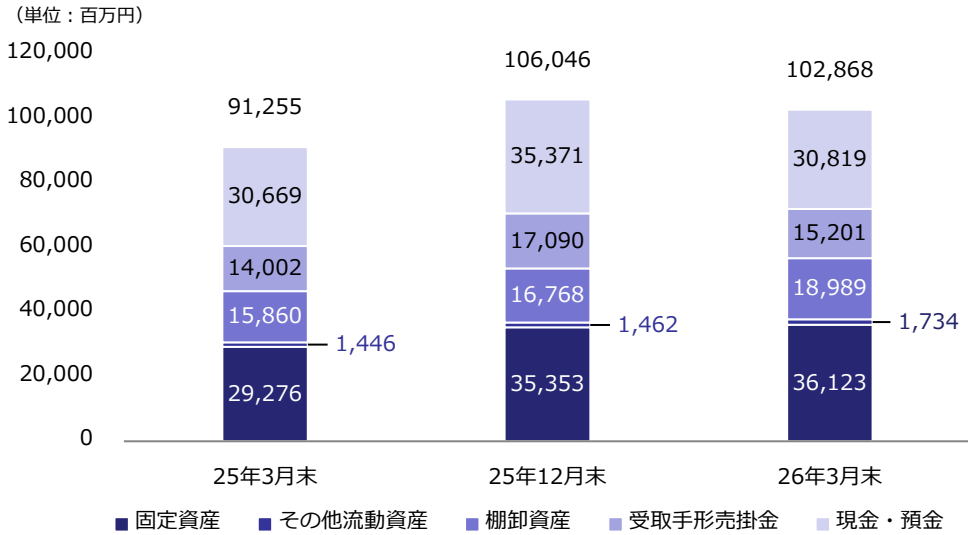
がん細胞を可視化する蛍光フィルターの開発

IV. 参考情報

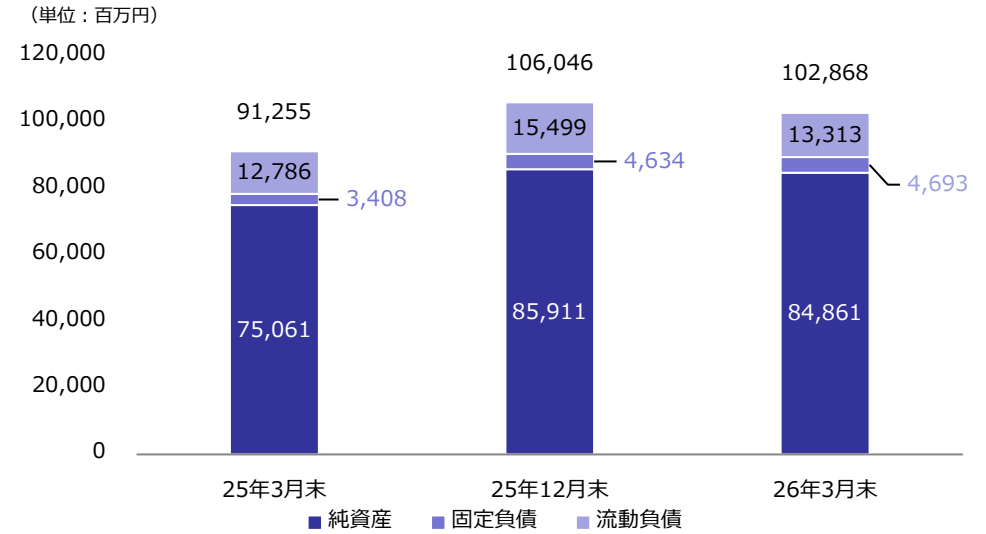


IV-1. 財政状況

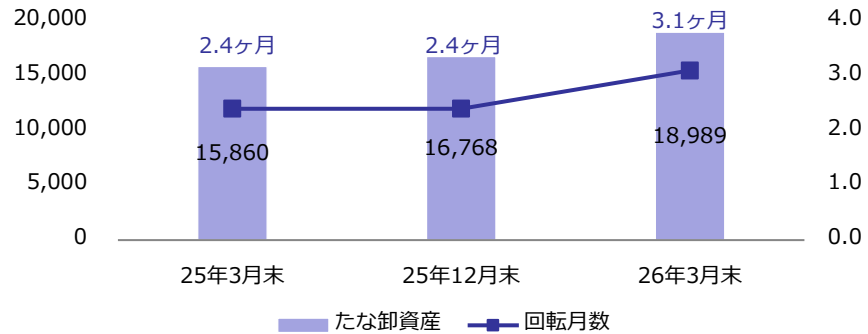
資産



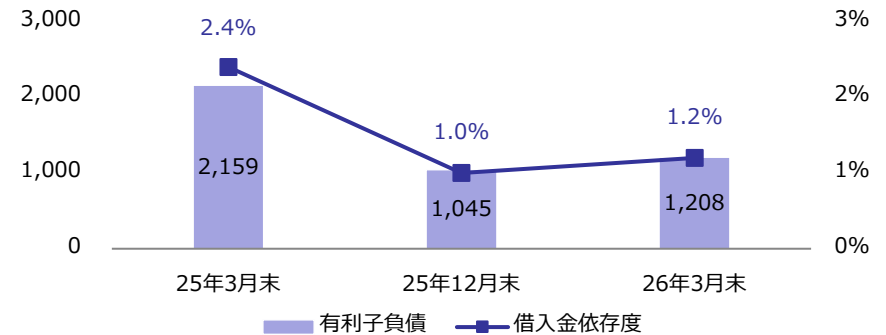
負債・純資産



棚卸資産



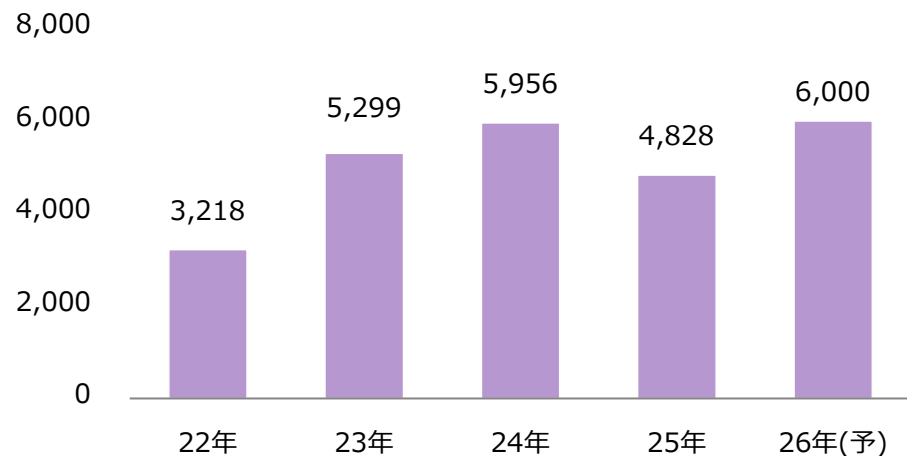
有利子負債



IV-2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

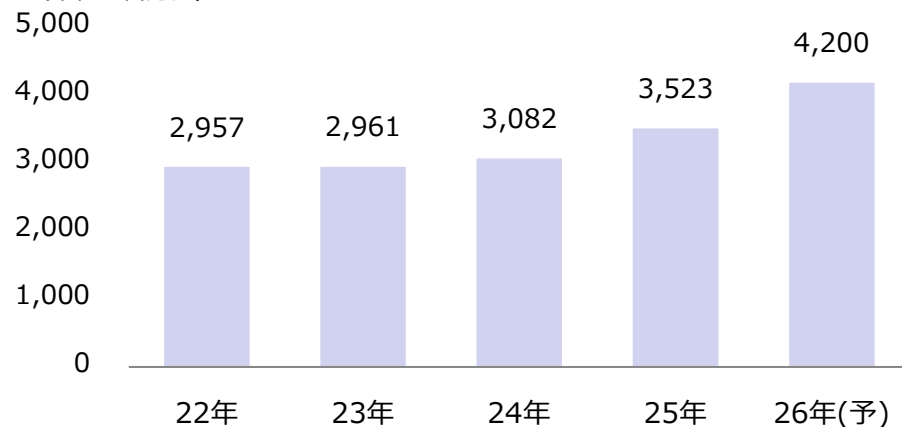
設備投資

(単位：百万円)



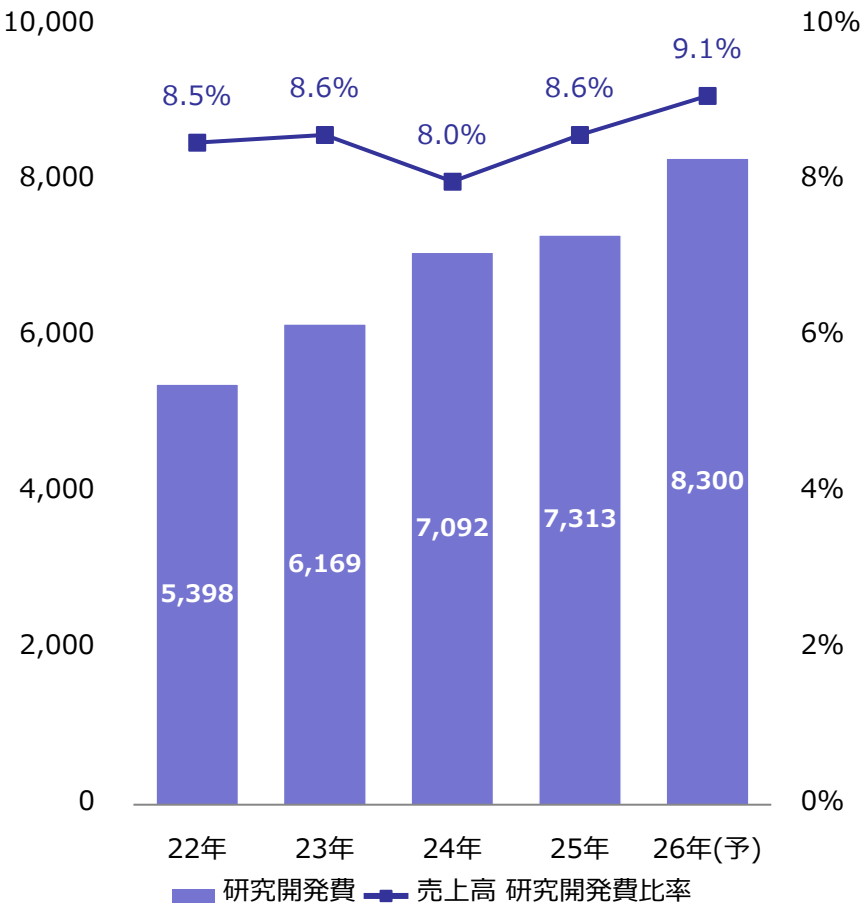
減価償却費

(単位：百万円)



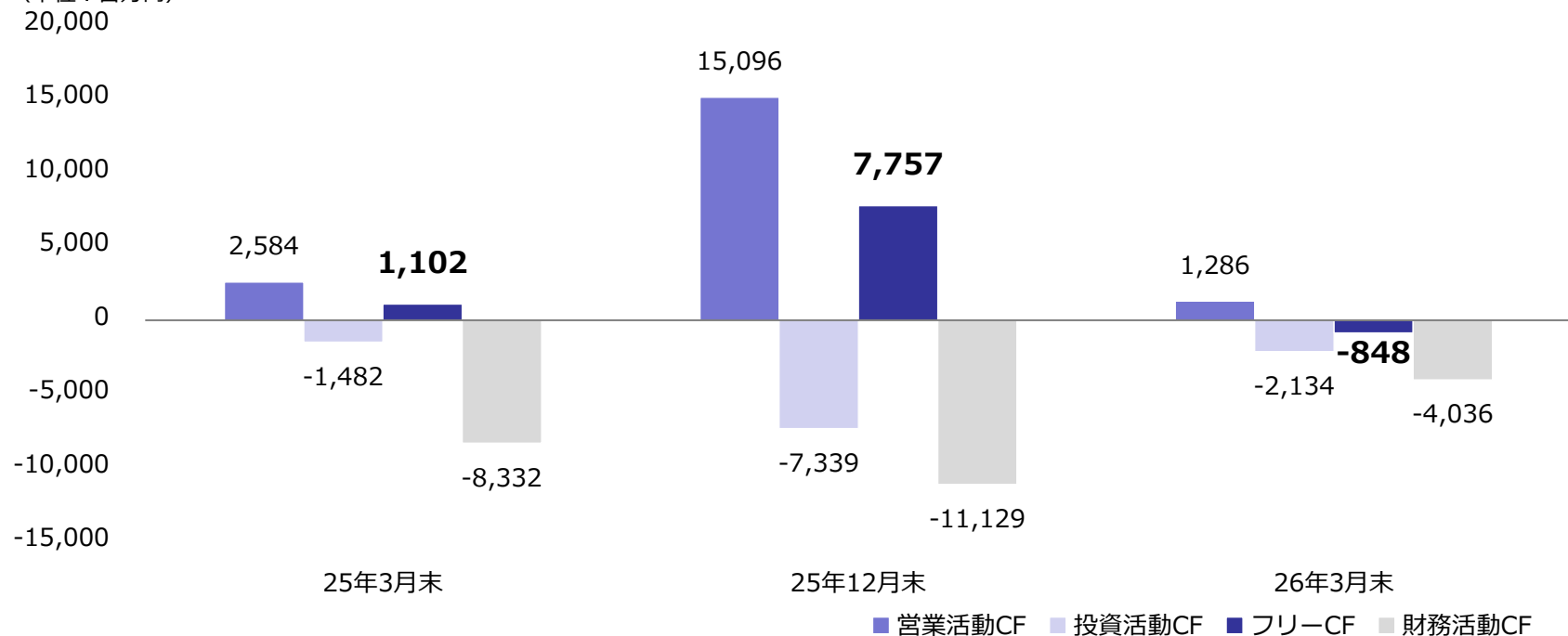
研究開発費

(単位：百万円)



IV-3. キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

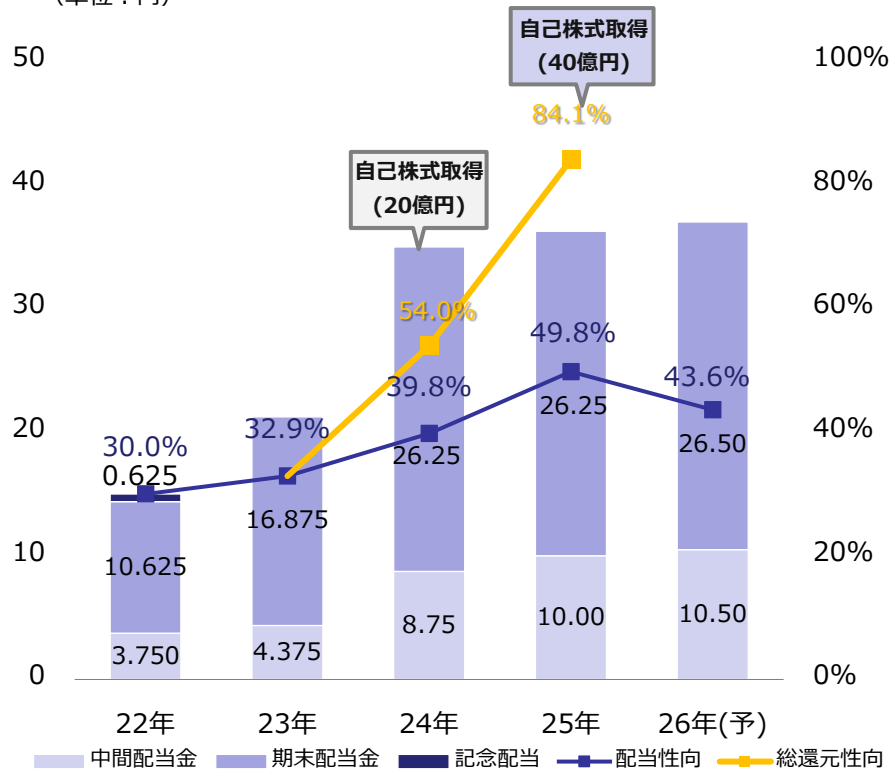


	26年12月末	25年12月末	26年12月末
営業活動CF	2,584	15,096	1,286
投資活動CF	-1,482	-7,339	-2,134
フリーCF	1,102	7,757	-848
財務活動CF	-8,332	-11,129	-4,036
現金及び現金同等物の 期末残高	30,669	35,371	30,819

IV-4. 配当金、主要経営指標

配当金推移

(単位：円)



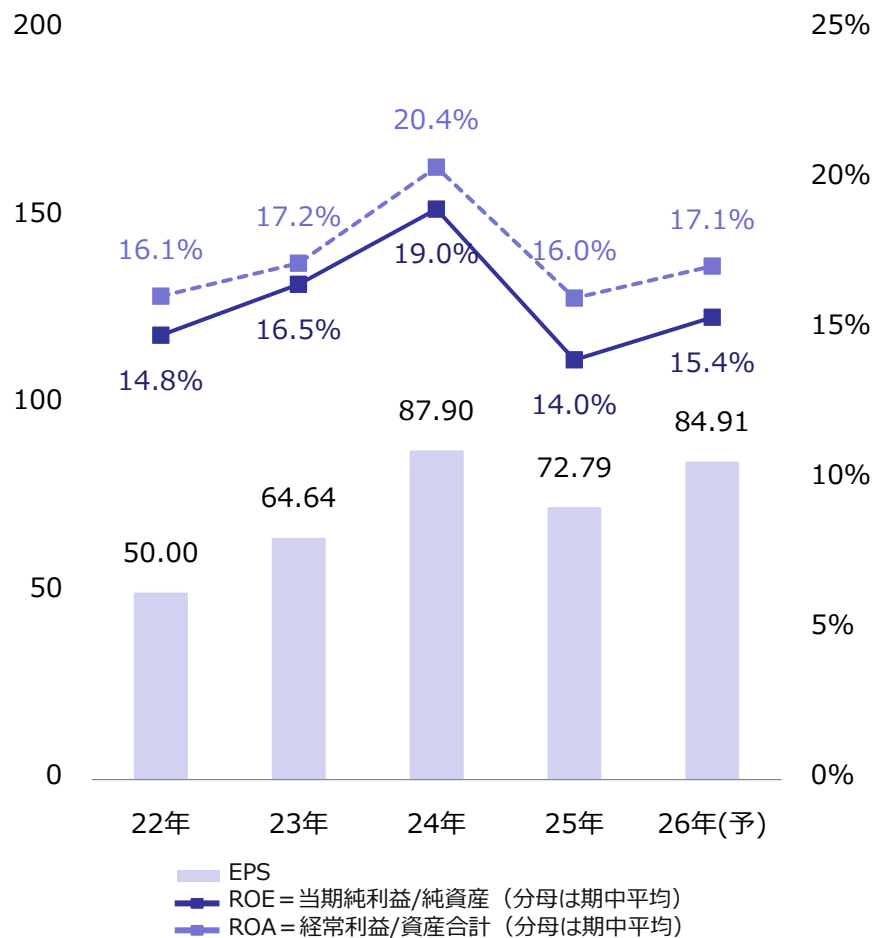
還元政策

- ◆ 配当性向40%程度（年間配当金20円を下限に安定配当）
- ◆ 総還元性向60%程度を目安に機動的な自己株式取得実施

※2025年7月、1株につき4株の割合で株式分割を実施
配当金、EPSについては、当該株式分割調整後の数値を記載

主要経営指標

(単位：円)



IV-5. 為替影響

26年Q1 為替影響額

	25年1Q実績	26年1Q実績	影響額	
			売上高	営業利益
USD/JPY	152.57	156.97	+1.8億円	+0.5億円
EUR/JPY	160.61	183.71	+2.4億円	+1.9億円
他通貨	-	-	+1.1億円	+0.6億円
合計	-	-	+5.3億円	+3.0億円

(前期実績に対する影響額)

26年 為替感応度 (年間)

	為替レート 26年前提	1円の変動 (円高) による影響額	
		売上高	営業利益
USD/JPY	148.00	-3.5億円	-0.3億円
EUR/JPY	175.00	-0.6億円	-0.5億円



将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2026年12月期第1四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本資料にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
3. 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。